

# Mamiko Taira Japan Tour 2018

阿部大輔  
guitar

平麻美子  
vocal

津川久里子  
contrabass

2018 11月19日(月)

開場 19:30  
開演 20:00~

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3000 円+2drinks order

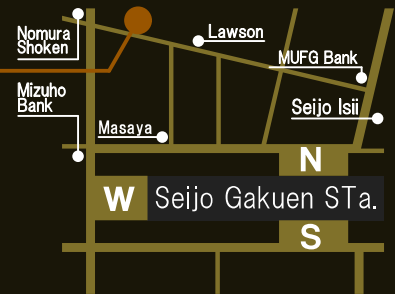
CAFE **B**EULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、  
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を  
ご記載ください。



## 阿部大輔

東京生まれ、NY在住16年目。15歳でギターを始める。1999年洗足学園短期大学(ジャズコース)を首席で卒業。その後ボストンのバークリー音楽大学へ奨学金を受け入学、2002年春に卒業。ニューヨークに移り、演奏活動を展開。2003年よりNYのジャズクラブ、Cleopatra's Needleにてレギュラー出演。2005年にブルーノートNYに出演し好評を得る。2005年11月には、ドイツの名門レーベルNagel-Heyer RecondよりデビューCDがワールドワイドリリース。2007年にはブルーノートNYに2度目の出演。2010年、山田拓児、小森陽子、津川久里子、二本松義史と結成したユニット、UoUのファースト・アルバムをアメリカのTippin' Recordsよりリリース。全米ジャズラジオチャート、"Jazz Week World"にて2週連続1位を獲得。自己のグループの他、サイドマンとしても数多くのライブ、レコーディングに等に参加し精力的に活動中。ウェブサイト [www.daisukeabe.com](http://www.daisukeabe.com)

## 平麻美子

東京都出身、ニューヨーク在住。フィラデルフィアのテンブル大学にてジャズを専攻、在学時代からプロとして活動を始める。卒業後は、NYに活動の拠点を移し、NYの老舗ジャズクラブBlue Noteなどにも出演。2002年度JazzConnect・Vocal Competition部門にて3位入賞。翌年は、ジェームス・マクブライド(「母の色は水の色」著者、作曲家、サクソフォニスト)のグループの一員として全米ツアーに参加。マクブライドに「ミュージシャンが心から一緒に演奏したいと思うシンガー、そして、観客は心からその歌に感動してしまう、そういう歌い手」と言わせる程、平麻美子の柔らかく包み込むような声と音楽に対する自然なアプローチは、聴く側だけでなくNYのプロ演奏家達までも魅了している。

## 津川久里子

東京生まれ。両親の影響で音楽に興味を持ち始める。2002年奨学金を獲得後、渡米。バークリー音楽大学に入学。その後拠点をニューヨークに移し、現在著名なAnthony Wonsleyなどをはじめ様々なミュージシャンと共演し、ライブ、レコーディング等で活躍している。それと同時にニューヨークで結成された自己のコラボレーションバンドUoU(ユーオーユー) デビューアルバム "Home" は米国のJazz week worldのラジオチャート2週連続No.1を獲得。米国のみならずヨーロッパ各国、南米等でもその実績が評価される。2013年2作目「Take the 7 Train」は1934年創刊の米国で最も権威のあるジャズ専門誌「ダウンビート」に取り上げられ好評を得るなど大変注目されている。日本でも毎年全国ツアーを行っている。世界でも数少ない実力派女性ベーシストの一人として世界中からその活躍に期待されている。